

令和元年度

行政評価外部評価報告書

令和元年12月

鯖江市行政評価委員会

鯖江市長 牧野 百男 様

鯖江市の事務事業について、鯖江市行政評価委員会による評価を実施し、このたび本報告書を取りまとめましたので報告いたします。

令和元年12月27日

鯖江市行政評価委員会

委員長	井上	武史
副委員長	落合	康治
委員	杉森	和代
委員	千葉	真貴子
委員	西村	昭宏

— 目次 —

1	はじめに	1
2	評価対象	1
3	評価手順	1
4	評価結果	1
5	評価対象事業および評価結果一覧	2
6	総括	2
7	おわりに	3
＜個別評価結果＞			
	めがねのまちさばえ感謝祭開催事業	5
	いきがい講座事業	7
	さばえものづくり博覧会開催事業	9
	つつじまつり開催事業	11
＜資料編＞			
	鯖江市行政評価委員会の開催経過	14
	鯖江市行政評価委員会委員名簿	14
	鯖江市行政評価委員会設置要綱	15

1 はじめに

鯖江市においては、平成27年度に策定した「鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、さまざまな施策に取り組んでいます。総合戦略の着実な推進を図ることを目的に、行政評価制度を活用し、平成30年度実施事業を対象に行政による内部評価が実施され、令和2年度の方向性について示されたところでもあります。この度、「市民の目線・生活者の視点」に立った内部評価が行われているかどうかを検証し、評価の透明性と多様性をより高めるために、学識経験者と総合戦略推進会議委員、市民主役条例推進委員会委員等の5名の委員で構成された「鯖江市行政評価委員会」を設置し、第三者による外部評価を実施しました。

2 評価対象

鯖江市行政評価委員会が行う外部評価の対象は、鯖江市が実施した「事務事業評価」としました。ただし、行政評価対象の443事務事業すべてを対象に外部評価を行うことは、限られた時間と労力の点から困難です。そこで、今回は「イベント事業（市の行事、催事、講座等）」に焦点を当て、該当する46事業の中から、評価委員によって選択された4事業を対象としました。

3 評価手順

- ① 評価する事務事業を選択しました。
 - ・ 委員会で、評価対象事務事業を選択
- ② 選択した事務事業について、個別の評価を実施しました。
 - ・ 事務事業評価調書に基づき、所管部署へのヒアリングを実施
 - ・ 質疑、討論を踏まえ、方向性の評価や付帯意見の整理などを実施
(方向性は「事務改善」、「内容拡大」、「内容縮小」、「維持」、「廃止・休止」の5区分)
- ③ 外部評価の総括を行いました。

4 評価結果

評価を行った4事業の方向性についての評価結果は、「事務改善」とした事業が2事業、「内容縮小」とした事業が1事業、「維持」とした事業が1事業となりました。

【抽出事務事業の評価結果比較表】

方向性	内部評価	外部評価
事務改善	2	2
内容縮小	1	1
維持	1	1

5 評価対象事業および評価結果一覧

No.	事業名	所管部署	内部評価	外部評価
1	めがねのまちさばえ感謝祭開催事業	めがねのまち さばえ戦略課	内容縮小	内容縮小
2	いきがい講座事業	長寿福祉課	事務改善	事務改善
3	さばえものづくり博覧会開催事業	商工政策課	事務改善	事務改善
4	つつじまつり開催事業	にぎわい推進室	維持	維持

6 総括

(1) 事務事業評価に関しては、各事業の所管部署へのヒアリングを実施し、事業内容の理解を深めた上で評価を行いました。方向性については、すべての事業で内部評価と同様となりました。ただし、内部評価と外部評価が同じ「内容縮小」や「事務改善」、「維持」であっても、その内容は必ずしも同じではありません。それぞれの事業で様々な改善が行われてきたことは評価しつつ、市民の目線から新たな改善等に結びつく意見も出されました。事業ごとに付された委員の意見を踏まえて、より効果のある事業とするよう見直しをお願いします。

イベント事業の効果を高めるためには、事業の目的は何か、誰をターゲットにするのか、予算をどれほどの規模とするか、効果を継続しつつ新たな取組みをどのように加えていくべきかなど、様々な要素を考慮する必要があります。

今回の評価では、4事業とも、毎年イベント内容を検証し、積極的な改善に努めていることは評価されますが、PDCAサイクルを適切に回していない事業や、財源確保やコスト削減、官民連携が不十分な事業が見受けられます。所管部署は、今一度、PDCAサイクルの内容を再確認し、更なる事業の改善、集客、広報周知に努めていただき、より効果的な事業になるよう見直しをお願いします。

その他、具体的な点に関しては後記のとおりです。

〈評価票の内容について〉

①予算

限られた予算の中で、事業の最大限の効果が得られるよう、適切な予算規模とその配分が求められます。そのためには、経営的な視点を持って、新たな財源の確保や、常にコスト削減を検討しつつ、事務の改善に努めるべきと考えます。

②評価

行政評価とは、市が行う事業について、PDCAサイクルを繰り返すことによって、取組みの成果を評価・検証して、事業の改善や予算編成、新たな企画

等へ反映していく仕組みですが、P D C AサイクルにおけるC h e c k（評価）が不十分な事業が見受けられました。P D C Aサイクルを回し、事業を継続的に改善していくためには、C h e c k（評価）の適切な実施が最も重要な部分となるので、全庁挙げての取組みが望まれます。

〈事業の広報について〉

事業をより多くの人に伝え、来場者の増加につなげていくためには、事業のより効果的な情報発信を行う必要があります。効果的な情報発信の方法は日々変化しています。新たな試みとして、テレビや新聞、インターネット、チラシなどの複数のメディアを活用するメディアミックスを行ったり、事業に関わる歴史やエピソードなどのストーリーをあわせて発信することにより、多くの人に興味を持ってもらい、記憶に残る広報となります。

- (2) 委員会では、各事業に対し多様な意見が出され活発な議論が行われました。外部評価の結果、付帯意見については、所管部署で対応策を検討するとのことですが、評価委員会の意見が次年度にどう反映され、実施されるのかを公開することがP D C Aサイクルを貫徹するために必要と考えます。
- (3) 外部評価の対象として、行政評価対象の4 4 3事業の中から、イベント事業に焦点を当て4 6事業を抽出し、4事業を評価しました。今回の意見には、抽出された事業のみならず、あらゆるイベント事業にとって重要な点を含んでいることから、他のイベント事業のあり方を考える際にも積極的に生かしていただきたいと思えます。

7 おわりに

この外部評価は、市民に密着した、透明性の高い市政運営を推進するための取組みである行政評価の一翼を担うものであり、今年度で1 1回目となります。

この報告書は、各行政評価委員が「市民の目線・生活者の視点」に立ち、第三者の立場から評価した結果としてまとめたものであります。また、個別の事務事業の評価結果については、まとめて後述します。

最後に、改めて強調したい点として、今回の外部評価結果は行政側の評価と同様でしたが、結果のみに満足することなく、付帯意見も踏まえて不断の改善を心がけていただきたいと思います。また、さまざまなイベント事業がある中で、今回評価を受けなかった事業についても、「市民の目線・生活者の視点」で事業がなされているか、この報告書の記載を踏まえ、今一度、振り返っていただくことを改めて望みます。

個別評価結果

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	めがねのまちさばえ感謝祭開催事業
-----------	------------------

事業コード
3017

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気なまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進

325

PLAN(計画)	部署名	めがねのまちさばえ戦略課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	「吹奏楽フェスティバル」を鯖江市の基幹産業である「眼鏡産業」とのコラボ企画として、福井県眼鏡協会が主催する「めがねフェス」と同時開催する。この取組みを通して、来場者の新たな客層開拓や相乗効果を図り、「めがねのまちさばえ」という地域ブランドが音楽を通して全国に発信できるとともに、地域住民の住むまちへの誇りを醸成する地方創生イベントとする。				
	概要	事業は3部構成とする。「吹奏楽ライブ」は、先輩アーティストや有名アーティストとのコラボレーションを中心にライブ感覚での演奏会を開催し、楽器体験による吹奏楽人口の底辺拡大や地域住民との交流を図る。また、演奏者が眼鏡を着用するなど、「めがねのまちさばえ」ならではのライブにするとともに、同時開催の「めがねフェス」とのコラボ企画を実施する。「めがねライブカントリーツアー」は、有名アーティストとの共演を経験することでの吹奏楽のレベルアップを図る。「吹奏楽スペシャルコンサート」は、県外有名高校吹奏楽部を招聘し、演奏会を通じて子どもたちの更なるレベルの向上を図る。				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
	内容	実行委員会に対して負担金を交付している。				

DOO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	実行委員会の開催		回	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	4	4	4		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	来場者数		人	目標値	3,000	4,000	4,000	4,000	4,000
				実績値	4,000	4,000	4,500		
	計算根拠			達成率(%)	133.3	100	112.5		
				実数値					
			ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.3
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	予算額	3,500	4,800	6,000	6,000	
	決算額	3,500	4,800	6,000		

補助金等名称	「新ふるさと創造」推進事業、芸術文化活動推進事業
--------	--------------------------

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

C E M I C O M M U N I T Y	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	吹奏楽部の子どもたちや来場者からは、イベントの開催継続を希望する声が多数あり、市民のニーズは十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	補助金等活用する上で市が関与すべき事業である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ある	主体	丹南地区吹奏楽連盟	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
			事業名	丹南地区吹奏楽祭	
			根拠	丹南地区吹奏楽祭は生徒による演奏がメインだが、本フェスは吹奏楽常連校やプロアー ティストとのコラボがメインであるため。	
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
有効性		事業名			
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	負担金以外に協賛金、チケット収入で運営しており、今以上の削減は難しい。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありませんか。 <input type="checkbox"/> 受益者負担	根拠	助成事業補助金を活用しているが、入場チケットの収入を増やす手段はある。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	他イベントとの合同開催などで集客の増加や新たな吹奏楽ファン層の拡大が可能。		

A C T I O N	【令和元年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【令和2年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 内容縮小
	令和元年度取組み	昨年引き続き、めがねフェスとのコラボ開催により、新たな集客と、“吹奏楽のまちさばえ”、“めがねのまちさばえ”を発信する機会としたい。また、市が推進するSDGsの啓発事業として展開し、吹奏楽ライブなどでSDGsを発信する。	令和2年度計画	総合体育館において、めざましライブと吹奏楽ライブを同時開催することにより、新たな集客と、“吹奏楽のまちさばえ”、“めがねのまちさばえ”を発信する機会としたい。 なお、文化センターの耐震工事に伴い、来年度の吹奏楽スペシャルコンサートを中止する。

外部評価結果

【令和2年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 内容縮小
-------------	-------------------------------

委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> アンケートを活用するなど、市民のニーズをしっかりと把握して事業を実施していただきたい。 吹奏楽の発展に向けて、活動支援金の拡充に努めていただきたい。 財源の確保に努めていただきたい。
--------	---

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	いきがい講座事業	事業コード 1214
-----------	----------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標 若くて元気のまちの創造	基本施策 生涯現役で生涯青春のまち	実施施策 生きがいづくりと社会参加活動への支援	331

PLAN(計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	60歳以上の高齢者が健康で生きがいのある生活を送り、長寿を喜びあえる社会を醸成する。				
	概要	月2-4回 講座を開催 利用者負担 月額500円+材料費 開催場所、講座内容 アイアイ鯖江：絵画、籐工芸、楽しいデジカメ写真、すこやかマージャン、木彫、水墨画、陶芸、すこやか筋力アップ いきいき未来館：ペン習字、折り紙、ハーモニカ、マジック 市民ホールつつじ：太極拳 ユーカルさばえ：ヨガ、楽しく健康体操 新横浜公民館：健康若返りコーラス、旅行英会話入門 市民活動交流センター：楽しいパソコン				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
内容	アイアイ鯖江、いきいき未来館、市民ホールつつじ、ユーカルさばえ、新横浜公民館、市民活動交流センターで18講座を実施している。(平成30年度までは提案型市民主役事業として実施。令和元年度は市直営にて実施。)					

DOO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	広報紙等によるPR		回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	3	3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	講座の年間開催数		回	目標値	470	495	495	495	495
				実績値	474	537	541		
	計算根拠	18講座の年間開催数(合計)		達成率(%)	100.9	108.5	109.3		
				実数値					
			ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	380

【単位:千円】						
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	予算額	4,176	4,800	4,800	4,340	
	決算額	4,176	4,800	4,800		

補助金等名称

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK (評価)	必要性 【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	平均寿命が伸びていく中で、社会とのつながりの中で健康で充実した生活を送りたいと望む高齢者は多い。受講生アンケート調査でも80.7%が講座に満足していると回答。受講生の半数以上が仲間づくりや生活のほりが出たことを喜びと回答している。受講希望の問合せは申込締切後も年間を通じて常にあり、会場の広さ等の制限で、人気の講座は受講を断る場合もある。
	【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	高齢者のいきがいつくり推進のため
	【競争】 国、県、または民間のサー ビスと競争している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体 事業名	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。
	効率・効果 【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> あり	所管課 事業名	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	対象者や時間帯等趣旨や条件が全て一致するわけではないが、講座メニューと類似した内容で活動しているものがある。
有効性 【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありませんか。 <input type="checkbox"/> 受益者負担	根拠	受講料を値上げする。	
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	受講生がいきがい講座で学んだことを生かして、各種行事、ボランティアなどに参加する。	

ACTION	【令和元年度 取組み】 <input type="checkbox"/> 事務改善	【令和2年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 事務改善
	令和元年度取組み 平成30年度までの実施事業者と情報交換したり、アンケート結果をもとに要望のある講座を検討する。地区公民館などで実施している講座について、市民に知らせるとともに、今後、他事業と統合できるものがないか検討していく。	令和2年度計画 アンケート結果をもとに要望のある講座を検討する。地区公民館などで実施している講座について、市民に知らせるとともに、今後、他事業と統合できるものがないか引き続き検討していく。令和元年度は、提案型市民主役事業ではなく市が事業を運営したことで判明した課題について、今後、課題の解消・改善に努めていく。

外部評価結果

【令和2年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 事務改善
委員会の意見 ・いきがい講座の開催会場が市中心部に集中しており、地区によっては参加しにくい高齢者がいる可能性があるため、開催会場の選定について、高齢者のニーズに応じた柔軟な対応をお願いしたい。 ・P D C A サイクルを適切に回すにあたって、事務事業調書のCHECK (評価) のニーズと行政関与の趣旨を踏まえた上で、当該項目の内容を見直していただきたい。 ・今年度市がいきがい講座事業を実施したことで判明した課題を踏まえて、提案型市民主役事業への受託団体と調整していただきたい。

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	さばえものづくり博覧会開催事業	事業コード 3032
-----------	-----------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標 若者が住みたくなるまちの創造	基本施策 地域資源を活かす観光の推進	実施施策 産業観光の充実	261
------	--------	------------------------	-----------------------	-----------------	-----

PLAN(計画)	部署名	商工政策課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	鯖江市内の事業所の紹介により、市内産業の振興発展を図るとともに後継者の育成に寄与するために開催される「さばえものづくり博覧会」の開催にあたり、鯖江市として負担金を支出する。				
	概要	主催：さばえものづくり博覧会実行委員会 主管：鯖江商工会議所・鯖江市 会場：鯖江市嚮陽会館 開催日：10月25日～27日 3日間 出展者：鯖江市内で産業を営む者・その他趣旨に賛同する者で主催者が認めた者 構成：①鯖江市内企業の新商品、新技術紹介（販売も可）②市内中・高校・高専生および大学生に対して、社会教育の一環として紹介③眼鏡・繊維・漆器を業界中心に展示④ものづくり産業関連体験・実演コーナー⑤大学・高専・企業・研究所等の展示・実演コーナー⑥さばえものづくり博覧会公式ガイドブック作成、配布、活用⑦さばえ博特別価格商品・サービス等の展示・紹介・販売⑧さばえ博を自社PRと市内外企業とのコラボレーションの場と位置付け、福井市、越前市の他、県外のものづくり企業に招待状を出す等、より広域的に広報宣伝⑨連携大学等の研究紹介				
	法令根拠					
	実施形態	現在 補助金等交付 内容 商工会議所内に実行委員会を設置し負担金として支出。				

DOO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	イベント開催支援		式	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	来場者数		人	目標値	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
				実績値	11,900	8,400	11,800		
	計算根拠	会場となる嚮陽会館の収容人数を鑑み、目標値は16000人で固定		達成率(%)	74.4	52.5	73.8		
				実数値					
			ランク	C	C	C			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.05
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	予算額	10,000	10,000	10,000	10,000	
	決算額	10,000	10,000	10,000		

補助金等名称

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

C E M I C O M M U N I T Y E V A L U A T I O N (値)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	さばえのものづくり産業や各事業所を紹介する機会であり、産業界・各事業所のニーズはある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	さばえのものづくり産業・事業所の紹介や後継者育成を図るための事業であり、市が支援することが望ましい。	
	効率・効果	【競争】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
			根拠		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名			
		根拠			
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある		根拠	事業の実施方法を工夫することで経費削減が可能。		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありませんか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	国・県等の補助制度が無いため。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	より効果的な実施事業を検討する余地あり。		

A C T I O N	【令和元年度 取組み】	事務改善	【令和2年度 方向性】	事務改善
	令和元年度取組み	出展社が年々減少していることに加えて、出展社から開催意義と成果に対して疑問視する声も上がっている。イベントのコンセプトも含めた開催内容について、実行委員会と議論し、改善に取り組む。	令和2年度計画	R1年度より「ものづくり鯖江」のブランドイメージが更に高まるようなブースデザインへと生まれ変わったもの博だが、今年は広報費を削減し、新作のブース設営に費用をかけたため、事前に十分なPRができなかった。R2年度は集客に繋がる広報に注力する。

外部評価結果

【令和2年度 方向性】	事務改善
-------------	------

委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・集客につながるよう、イベント広報を工夫していただきたい。 ・産業関係のイベントが10月に多く開催され、出展者や来場者の減少に影響を与えている現状に鑑み、実行委員会においてイベントの開催時期を協議し、産業関係のイベントの開催時期の調整に努めていただきたい。
--------	---

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	つつじまつり開催事業
-----------	------------

事業コード
1122

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	263
		若者が住みたくなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	街なか観光の推進	

PLAN(計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	日本海側随一である約5万株(11種類)のつつじを誇る“日本の歴史公園百選 西山公園”を中心とした「つつじ」のイベントを開催し、県内外から観光客の定着を図るとともに、鯖江市の観光振興、商店街および地場産業の活性化に資する。				
	概要	つつじまつり実行委員会を組織し、西山公園のつつじを観光素材とした「つつじまつり」を5月GWに開催する。開催にあたっては、西山公園のつつじを活かした企画をはじめ、鯖江市の観光PRや物産販売、地場産業の情報発信を行う。また、中心市街地商店街のエリアでのおかみさん会や商店会等によるおもてなし事業もあわせて開催し、にぎわいを創出する。				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
内容	商工会議所内につつじまつり実行委員会を設置し、負担金を支出している。市も事務局として委員会に加わり開催する。					

DOO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	つつじまつり来場者数		人	目標値	200,000	200,000	200,000	180,000	170,000
				実績値	207,000	202,000	188,000		
	計算根拠	※H25・H26 会期期間 2日 H27～ 会期期間 3日			達成率(%)	103.5	101	94	
				実数値					
			ランク	A	A	B			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.25
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	補助費等		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	予算額	6,200	6,200	6,200	6,200	
	決算額	6,200	6,200	6,200		

補助金等名称

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

C E M I C (価 値 評 価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	毎年まつりへの参加希望者が多数あり、市民のニーズは十分である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	鯖江市民のまつりであり、市が関与する必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
				根拠	
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
事業名					
		根拠			
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	収益性の高いイベントを企画するなどして、イベントによる収入の増額に努める。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありませんか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	国や県の補助金で財源を確保するものはない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	これまで、実行委員会にて多様なイベントを企画、開催してきたが、マンネリ化してきた企画の改善に向け、実行委員会以外のメンバーによる検討委員会を立ち上げ、検討を行うこととする。		

A C T I O N	【令和元年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【令和2年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	令和元年度取組み	日本海側随一のつつじを誇る“日本の歴史公園百選 西山公園”を中心に集客イベントを開催することにより、県内外から観光客の誘客を図ることを目指し、鯖江地区の商店街等と連携して、JR鯖江駅と西山公園を繋ぐ街なか周回バスを運行する。また、西山公園とめがねミュージアムやうるしの里会館等の市内産業観光施設を結ぶシャトルバスを運行し、さらなる誘客を図る。まつり開催後には、外部からの意見を取り入れ、さらに魅力的なまつりとするため、検討委員会を設けて意見交換会を開催し、マンネリ化してきた企画の見直しを進めていく。	令和2年度計画	つつじまつりの更なる魅力向上を図るため、検討委員会から提案のあった意見（つつじに特化した企画の実施や飲食の開発、滞在しやすい環境づくり等）をもとに、つつじまつり実行委員会および各部会で検討し、来園者の満足度を更に高める方策や効果的な広報、SDGsを意識した取り組み等を実施する。また、昨年度同様、西山公園だけでなく中心市街地のにぎわい創出を目指し、おかみさん会等の商店街の関係者の方と連携を図りながら、街なか周回バスの運行や商店街ならではのおもてなしイベントを開催して街なかエリアへの誘客を目指す。

外部評価結果

【令和2年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
-------------	--

委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「さばえ狂歌」に関する記念碑をパンフレットに明示するなど、イベントにおいて西山公園の歴史をこれまで以上にPRしていただきたい。 ・他の事業で行っている手法を参考にしながら、財源の確保に努めていただきたい。 ・商店街と引き続き連携をとりながら、街なかへの誘客を進めていただきたい。
--------	--

資料編

鯖江市行政評価委員会の開催経過

会議	開催日	内容
第1回	令和元年11月26日(火) 19:00～ 3階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長および副委員長の選出 ・鯖江市の行政評価制度の概要 ・外部評価の実施手順 ・評価対象事務事業の抽出 【外部評価の実践(2事務事業)】 ・めがねのまちさばえ感謝祭開催事業 ・いきがい講座事業
第2回	令和元年12月2日(月) 19:00～ 3階会議室	<ul style="list-style-type: none"> 【外部評価の実践(2事務事業)】 ・さばえものづくり博覧会開催事業 ・つつじまつり開催事業 ・総括審査
	令和元年12月27日(金) 14:00～ 市長室	<ul style="list-style-type: none"> ・市長報告

鯖江市行政評価委員会委員名簿

氏名		役職等
井上 武史	◎	東洋大学経済学部准教授 鯖江市総合戦略推進会議委員
落合 康治	○	鯖江市区長会連合会副会長 鯖江市総合戦略推進会議委員
杉森 和代		市民主役条例推進委員会委員
千葉 真貴子		谷口法律事務所鯖江支所弁護士 鯖江市総合戦略推進会議委員
西村 昭宏		鯖江商工会議所青年部会長

(50音順：◎委員長 ○副委員長)

鯖江市行政評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 鯖江市が行う行政評価について、客観性および透明性を高めるため、鯖江市行政評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 庁内組織による内部評価結果に関して調査および審議を行い、意見を述べること。
- (2) 行政評価制度の推進に関して意見を述べること。

(組織)

第3条 委員会は、委員10人以内で組織する。

- 2 委員は、市民、学識経験者のうちから市長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、1年以内とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長および副委員長)

第5条 委員会に、委員長および副委員長各1人を置く。

- 2 委員長および副委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときまたは委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長が必要と認めるときは、関係者の出席または資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、政策経営部めがねのまちさばえ戦略課において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか委員会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成19年7月11日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。